

富士未来学 I

－研究経過報告書

研究経過報告書でできるようになること

研究経過報告書を作成することで、自分の課題研究の進捗を知り、今後に向けての課題を見いだすことができる。また、2月の探究発表会に向けて、研究計画を見直すことができる。

研究経過報告書で学ぶこと

研究経過報告書で自己の探究活動の振り返りを行い、今後の探究活動の計画を見直し、自己改善することを学ぶことができる。自分は何を主張したいのか、何を他者に伝えたいのか、自分自身に問いかけて自己調整することを学ぶ。

月 日 ()

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校



中学1年 組 番 氏名



研究経過報告書

ループリックを見返しながら、自己の到達度を確認し、改善を図りましょう。

育成したい資質・能力	グランドデザインの観点	評価の観点	評価の対象	高度に達成されている	達成されている	一部に課題あり	自己評価	教員による評価
				A	B	C		
挑戦力	試行錯誤	主体的に学習に取り組む態度	2の記述	2において、(1)で研究課題の記述があり、(2)で設定した理由をどのように調査しているかについて、インターネットや書籍など、複数の方法を記述している。	2において、(1)で研究課題の記述があり、(2)で設定した理由をどのように調査しているかについて、インターネットや書籍などの方法を1つ記述している。	2において、(1)で研究課題を記述していない。または、(2)で調査方法を記述していない。		
理数的発見力	調査比較	思考・判断・表現	3の記述	3において、(1)で結論の記述があり、(2)で結論を裏付ける数値の収集方法や、処理方法を記述している。	3において、(1)で結論の記述があるが、(2)で結論を裏付ける数値の収集方法や、処理方法を記述していない。	3において、(1)で結論を記述していない。		

富士山をテーマとした課題研究の進捗について報告します。2月の発表会に向けて、自分の研究計画の見直しを行う機会になります。

1 富士山をテーマとした課題研究について

富士山に関して、各自の興味・関心のある領域での課題研究を行います。マインドマップで自己と向き合い、思考を整理することで研究したい領域を探る方法を学びました。データ分析講座 I で学習した、統計学の基礎的な内容を活用して、数値を根拠として自分の主張を行います。自分の考えが客観的に捉えられるかという視点を裏付けるのは、調査の質と量が大きく影響します。

2 研究課題

富士山に関して、各自の興味・関心のある領域での課題研究を行います。課題発見講座 I を活用して、研究課題を設定します。

(1) 研究課題（決まっていない人は、予定している領域を書きましょう。）

(2) 研究課題を設定した理由について、どのように調査していますか。



富士山の湧水が銘水と言われるのは（例）

東京都立富士高等学校附属中学校 1年 組 氏名 ○ ○ ○ ○

研究課題を設定した理由

富士山の湧水は銘水と言われてミネラルウォーターとして販売されています。・・・・・・・・

研究課題を設定した理由について述べます。研究課題に関して、興味・関心をもったのはなぜか、何を調査したいのか、調査したことから、特に何を相手に伝えたいのかを記述します。

先行研究を調査するのに信頼できるサイトの例

Cinii 日本の論文検索、いろいろなキーワード検索ができます。

J-stage 日本の論文検索 学会ごとに分類されています。

ERIC 海外の論文検索ができます。

総務省統計局 国勢調査等の信頼できるデータが得られます。

各地方自治体のホームページ 各自治体に特化したデータが得られます。

環境庁 環境白書などから自然科学系のデータが得られます。

図や表など

富士山と東京の湧水の分布と主な成分の比較（例）

富士山の湧水は各社が販売するほど銘水があり・・・

データ分析講座 I で学んだことを生かして、調査により得たデータを使って、自分が相手に伝えたいことの根拠とします。

グラフ 2

グラフ 1

結論

本研究では○○○○・・・・・・・・・・ということが分かりました。根拠は・・・

本研究により、○○○○・・・・・・・・・・を提案します。理由は・・・

本研究により、○○○○・・・・・・・・・・ということが言えます。根拠は・・・

成果と課題

今回の富士山をテーマとした課題研究に取り組んだことによる、成果と課題について、挑戦力、理数的発見力、理数的解決力と関連させて記述します。

参考文献

ポスターを作成するためにあなたが参考にした書籍やインターネットについて書きましょう。

図 1 ポスターのレイアウト例



3 結論

富士山に関する客観的なデータを根拠にして、結論において自らの主張を述べます。

(1) 結論（決まっていな人は、どのような結論、提案であるのかを書きます。）

(2) 結論を裏付ける数値をどのように収集し、処理しようとしていますか。

4 ルーブリックによる自己評価

育成したい資質・能力	学習活動の目標	評価の観点	評価の対象	高度に達成されている	達成されている	一部に課題あり	自己評価	教員による評価
				A	B	C		
挑戦力	試行錯誤	主体的に学習に取り組む態度	2の記述	2において、(1)で研究課題の記述があり、(2)で設定した理由をどのように調査しているかについて、インターネットや書籍など、複数の方法を記述している。	2において、(1)で研究課題の記述があり、(2)で設定した理由をどのように調査しているかについて、インターネットや書籍などの方法を1つ記述している。	2において、(1)で研究課題を記述していない。または、(2)で調査方法を記述していない。		
理数的発見力	調査比較	思考・判断・表現	3の記述	3において、(1)で結論の記述があり、(2)で結論を裏付ける数値の収集方法や、処理方法を記述している。	3において、(1)で結論の記述があるが、(2)で結論を裏付ける数値の収集方法や、処理方法を記述していない。	3において、(1)で結論を記述していない。		

引用文献

- (1) 東京都立富士高等学校・東京都立富士高等学校附属中学校（2021）『令和3年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施計画書【開発型・実践型】』